

# 「ChatGPT－その実体と負の側面」

日時 2023年08月25日（金）

14:00～16:30

会場：港区生涯学習センター（ばるーん）101学習室

（住所）港区新橋三丁目16番3号（電車）JR新橋駅下車烏森口徒歩3分

会費：¥1,000（定員50名、資料、会場代他）

世界中で話題となっているChatGPTは今や生成AIの代名詞となって社会に浸透しつつある。その性能に関してメディアが一斉に「凄い」を連呼する。プラスの面ばかり大袈裟に強調され、それが人間と社会に対してどのような影響を及ぼすものか深い検討もなされないまま拡散している。私自身を含めて生成AIの正体を良く知らない一般人は、得体の知れない新たな電子技術の脅威にさらされているのではないのか？その衝撃から身を守るためには、素人ながらもその正体を見極める必要がある。

かつて社会に出現した様々な技術が人間にどう影響してきたかを振り返りながら、いま目の前に迫る生成AIの脅威にどう対処すべきかを考えたい。

## 講師プロフィール●井上隆史（いのうえたかし）

1981年に日立製作所生産技術研究所に入社。日立が製造する様々な電子デバイスの生産技術の開発に従事。事業分野として半導体、大形計算機、Liイオン電池、液晶ディスプレイ、臨床検査装置の5つを経験。半導体ではサブミクロン加工ホトレジスト開発に4年半従事。その後イギリス留学で微生物の電場応答を研究。帰国後、大形計算機のCPU実装技術開発に9年間従事。世界4強が鎬を削るコンピュータ事業の世界に浸かる。世界最小・高信頼チップパッケージ(CSP: chip scale package)の草分け、微細接続電極を実現する世界初ノーシアン無電解金めっき等を開発。大形計算機2世代の出荷を支える材料・プロセス研究に参画。その後1年半の大形Liイオン電池研究を経て、液晶ディスプレイ分野に9年従事。テレビ用高精細液晶を実現する液晶配向技術などを開発。IPS液晶パネル\*<sup>1)</sup>の画質・歩留向上に貢献。並行して、遺伝子解析装置、血液自動分析装置、免疫自動分析装置等の体外診断機器・ライフサイエンス機器の研究開発に参入。2015年に日立退職後、日立在籍中の開発材料(ラビング布:液晶配向工程に欠かせない特殊ベルベット布)の新規事業を中心に液晶パネル製造装置メーカーの技術顧問を務めた。その後個人業の技術コンサルタントを開始、縁のある機能薬品メーカーの指導を続けた。2021年度から東京大学客員共同研究員としてナノ材料開発も指導。新規材料の事業化に関わる技術コンサルタントを続けている。技術者を含めて様々なクライアントにコーチングも行っている。

〔\*1〕IPS液晶パネル：日立が発明した高視野角高精細液晶パネル。アップル社iPhone、iPadへの採用を機に一気に業界に広まった。〕

## ■主な項目（話題）

- ・ ChatGPTとは何か
- ・ なぜ注目を集めるのか
- ・ その技術的背景
- ・ ChatGPTの課題
- ・ 生成AIが抱える問題
- ・ 進化する電子機器とAIが、我々をどう変えるか



参加申し込み方法 左記事項を記入の上、(1)お名前 (2)お勤め先 (3)ご連絡先（メール、電話）

外村 ([k\\_tomura@mtf.biglobe.ne.jp](mailto:k_tomura@mtf.biglobe.ne.jp))、または、鈴木 ([6j929@dance.plala.or.jp](mailto:6j929@dance.plala.or.jp)) へ

問い合わせ先 (1)新着IT情報 鈴木昌則 携帯 090-4843-7073、[6j929@dance.plala.or.jp](mailto:6j929@dance.plala.or.jp)

(2) ゆらぎ研究会 外村孝史 携帯 090-5207-6098、[k\\_tomura@mtf.biglobe.ne.jp](mailto:k_tomura@mtf.biglobe.ne.jp)

主催 新着IT情報 後援 ゆらぎ研究会